

カーボンレポート

東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO₂排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

報告書提出
事業者名

三井住友信託銀行株式会社

事業所名

住友不動産上野ビル6号館

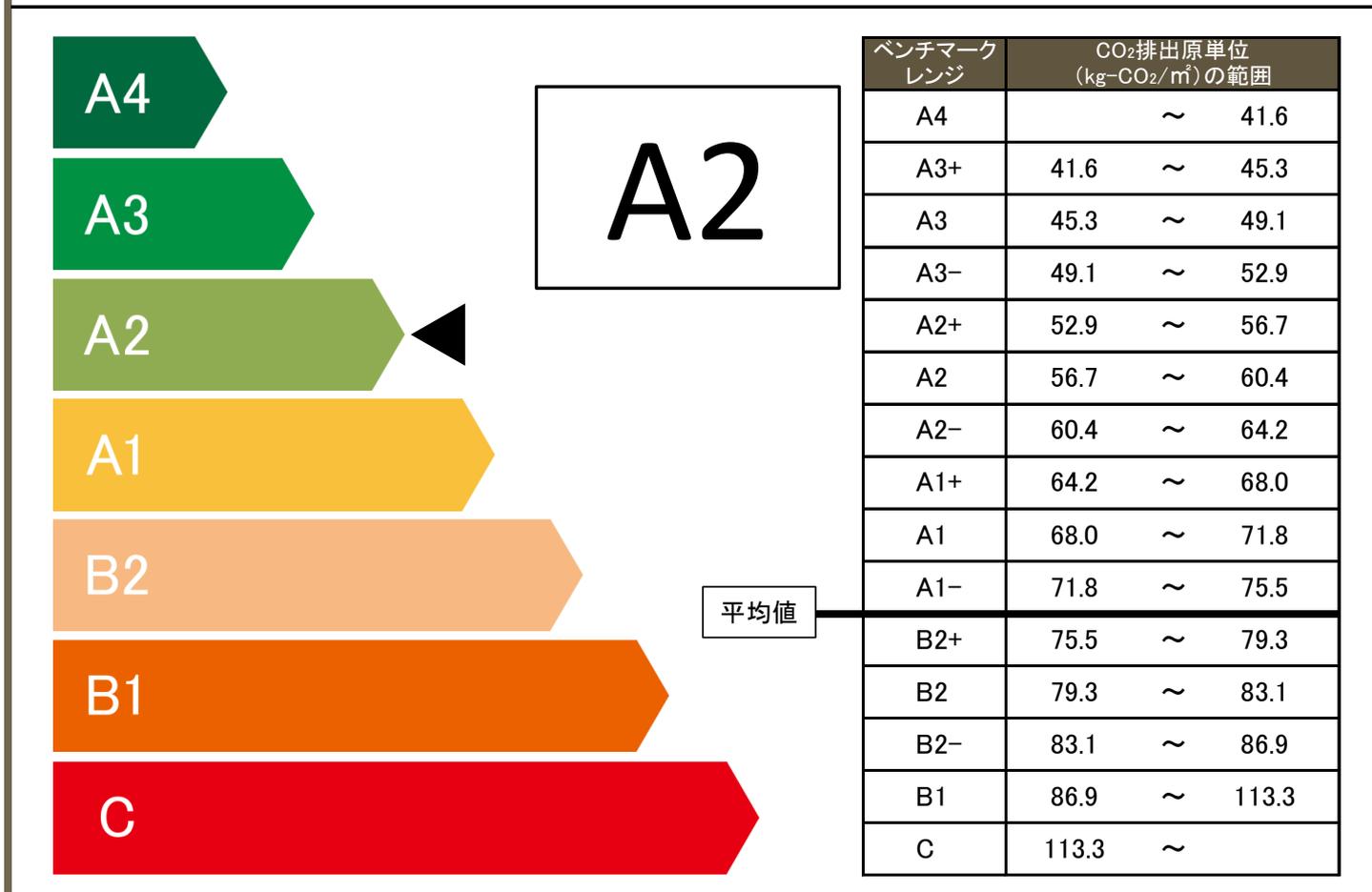
住所

台東区東上野五丁目24番8号



実績年度	年間CO ₂ 排出量	延床面積	CO ₂ 排出原単位 (延床面積当たりの年間CO ₂ 排出量)	主たる用途
2017年	582 t	9631.83 m ²	60.4 kg-CO ₂ /m ²	事務所

ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、中規模)



※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO₂排出水準(CO₂排出原単位的水準)を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)を参照)

※CO₂排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。

※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組織体制の整備	テナントにエネルギー使用量提供	中央熱源方式の空調使用量の提供
		テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の使用状況の把握	自ら入手可能な情報に基づく把握	過去のデータによる傾向の把握
	エネルギー使用量の前年度比較	
運用対策	空室・不在時等のこまめな消灯	採光を利用した消灯の実施
	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	中間期における外気冷房の実施
	中央熱源機器等の季節設定実施	温湿度の適正管理
		事務用機器を業務終了時に停止
		温湿度の適正管理
		便座ヒーター等温度の季節別設定
		自動販売機の休日・夜間照明停止
		外灯等の点灯時間の季節別管理
設備保守対策	中央熱源機器等の定期点検の実施	セントラル空調のフィルター清掃
	空調フィルターの清掃・点検	
設備導入対策	高効率照明器具の採用(屋内)	デマンドコントローラーの設置

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

1) 建物概要
 ①建物: 竣工1993年。地上11F、地下2F。地下は機械室、受水槽。
 ②受電設備: 受電6kV(契約電力482kW) デマンド監視あり。
 ③稼働時間: 8:00am~20:00pm ④テナント入居率: 100%

2) 主要設備
 空調機器(インテリア系統: 冷温水チラー3台+冷温水ポンプ+エアーハンドリグユニット、ペリメータ系統: PAC空調機)、照明(LED、Hf蛍光灯、コンパクト型蛍光灯)、排気ファン、機械式駐車場、OA機器、エレベータ3基等

◆ 注記

ビルのCO₂排出原単位(延床面積当りの年間CO₂排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO₂排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO₂排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO₂排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も含まれた平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO₂排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。